



ヨルダンには幻の駅が？！

ヨルダンで電車って見ないなあ…。「電車ってある？」と聞くと、「ない。」とあっさり言われてしまいました。しかし、詳しく聞いていくと、電車はないけど、汽車はあるとのこと。その駅と車庫が首都アンマンに存在していたので紹介します！



ヨルダン人の中にもその存在を知らない人もいて、まさに幻の駅…。周辺の人に道を尋ね、迷いながらもたどり着きました。



そこで働く方々がとても親切に説明して下さいました。どうやら1908年に開通し、今から115年前は「メッカへの巡礼」（前にお伝えしたイスラム教徒にとって義務のひとつ）のための鉄道として、当時は「ヒジャーズ鉄道」という名前でシリアのダマスカスとサウジアラビアのメディナ間を走っていたそうです。



1914年に始まった第一次世界大戦によって多くが破壊されてしまい、当時の線路を走ることができなくなったのですが、今はヨルダン国内で観光や貨物輸送に使われているとのことでした。



本当に気さくな方々で、「乗っていいよ。写真たくさん撮りな!」と言ってくれたので言葉通りにたくさん写真を撮らせてもらいました。



日本人だと伝えると、「日本の汽車があるぞ!見てくれ!日本の汽車は素晴らしい!」と言って、日本製の汽車を見せてくれました。また意外な場所で日本とのつながりを発見!ここにある8台の車両のうち3台が日本製だそうです。

室内にはヨルダンの伝統的な模様の座席がありました。ここに座ってヨルダンの景色を眺めるとどんなに気持ちがいいだろう...と今回は想像して

楽しみました。夏には走るそうなので、次は走る汽車にぜひ乗ってみたいです。



Let's talk in Arabic ♪

今回はいろんな乗り物をアラビア語で何というのか一緒に学びましょう!



سيارة

読み方: サイヤーラ

自動車



باص

バス

バス



قطار

キタル

電車/汽車



طائرة

タイヤーラ

飛行機



تكسي

タクシー

タクシー



بسكليتة

バスカレータ

自転車

前にも紹介したとおり、ヨルダンには日本の車がたくさん!ヨルダンでは日本製の物への信頼が厚く、高性能で質の良いものが多いとよく言われます。今回紹介した汽車も日本製だから丈夫でよく走るんだよ!と自信満々に紹介してもらいました。毎回日本を褒められる度に、素直に嬉しい気持ちとその信頼を裏切らないように日本の技術や伝統を大切にしていかなきゃと責任感のようなものを感じます。



では、また次回! مع السلامة



猫はこたつで…

丸くなる〜♪と言えは、そう、童謡「ゆき」です。ヨルダンの冬は寒い…けどこたつはありません。ならば猫はどうするのか…うちの近くで見かけた猫は気持ちよさそうに伸びをしていました。野生の猫はたくましい！



 **عاجل**

**وزارة التربية والتعليم
تعلق دوام المدارس في
جميع أنحاء الأردن
الثلاثاء**

(意訳) 教育省は、火曜日のヨルダン全域の学校の休校を決めました。

www.royanews.tv
/ Royanews

さて、ヨルダンでは 2月5日に新学期を迎えました。ですが、翌日の夕方、ニュースで「火曜日はヨルダン全域の学校が休校になります」と報道されました。理由は、気温が下がり、雪が降るからとのことでした。

そして迎えた 2月7日、ついにヨルダンに雪が降りました！！

首都アンマンではしっかりと積もったようです。…首都では？あれ？マダバ（私が暮らす地域）は？そう…本当に残念ながら、マダバではみぞれが少し降った程度で雪が積もることはありませんでした。写真は、アンマンで活動する隊員からもらいました。お店は休みのと

ころがほとんどで、車もあまり走っていません。こんな日はこたつがなくてもお家で暖かくして過ごすのでしょうか。その後も気温の低い日が続いたため、政府の決定により結局2月7日～9日までの3日間、学校が休校となりました。



学校が休みの子どもたちは、外で元気に遊んでいたそうです。私も一緒に雪合戦や雪だるま作りをしたかったなあ…。子どもたちが作った雪だるま、オリーブの葉っぱを使って顔を作っているのが素敵です！



Let's talk in Arabic ♪

今回は雪の話題についてだったので、天気に関わるアラビア語と一緒に学びましょう！



ثلج

読み方：サルジュ

雪



شمس

ムシュミス

晴れ



غائم

ガーイム

くもり



مطر

ムンタル

雨

ヨルダンではたとえ雪が降ったり雨が降ったりしても、傘をささない人が多くいます。じゃあどうするのかというと、洋服のフードをかぶったり、頭に布を巻いたりして雨をしのぎます。そして、雪や雨は神様（アラビア語でアッラー）から与えられた恵み。雪や雨を嬉しそうに眺める人が多くいます。同僚の中には自ら傘もささずに笑顔で雨水を浴び、その様子を動画に撮影して記録に残す人もいました。1年を通して降水量の少ないヨルダンならではの感覚だなと感じました。



では、また次回! مع السلامة



ヨルダンにねこバス?!



首都アンマンと私が暮らしているマダバは車で約40分の距離にあるのですが、今回は普段どうやって移動しているのかについてお伝えします。

実は、「ねこバス」に乗っています。「ねこバス」と勝手に日本人の間で呼んでいるだけです。前にいた人が「ねこバス」と呼んでいたそうですが、今では「チーターバス」と呼ぶ人がほとんどです。

バスには大きさや行き先によって種類がいろいろあります。中でもこのバスは日本の一般的なバスの車体とはほぼ同じ大きさで、首都アンマンとマダバの間を約1時間に1本の間隔で走っています。



乗り降りは車体の右側からします。



呼び方はさておき、車内は日本のバスと同じように座席が両側にあり、運転席も運賃箱もあります。

しかし、この運賃箱は使いません。運転手が途中でバスを止め、乗客から直接回収します。料金は片道1~1.1 J D (約200~220円)です。効率的ではないかもしれませんが、ここでちょっとしたコミュニケーションを取ることで顔なじみになっていきます。小銭を持ってなかった…お金が足りない…どうしよう…という時に、運転手さんの優しさでおまけをしてくれたことがあります。



突然ですが、ここでクイズです!
日本のバスではあるけど、このバスにはないものがあります。それは一体何でしょうか?
写真をよく見ると気が付く人もいるかもしれません…さあ、分かるでしょうか?



とまります
お降りの方は
このボタンを
押してください



それは、「降車ボタン」！日本であれば、自分が降りたいバス停の手前でボタンを押して、運転手に知らせて停めてもらいますよね。しかし、このバスにはないのです。「どうやって降りるの？もしかして、終着地まで降りられないのかな…？」そんな不安を抱きながら乗っていると、乗客の1人が「お疲れ～！降りるよ」と運転手に声をかけました。すると、運転手はちらっとその声の主を確認し、スピードを落として、バスのドアを開けました。乗客は「お疲れさま」と一言運転手に伝え、さっと降りていったのです。「なるほど！バスを降りる時は、自分で降りたい場所に近づいたら運転手に伝えるのか！」と知りました。そして何回か乗っていると、女性の場合は、コインで窓を叩いて音を出すことで降りる意思を伝える方法もあるのだと分かりました（アラビア語でうまく降りたいと言えなかった時にはこの方法が便利でした。）。降りたい意思を伝えるタイミングが難しく、どうしてもバスを降りるときは、今でもドキドキします。

降ります！



反対に、乗るときにはどうするのか…やっぱり、運転手に伝えるしかないのです。始発地点



と終着地点以外は決まったバス停はありません。つまり、バスの通り道ならどこからでも乗ることができます。乗るときは、道路でバスを待ち、バスが来たら手を挙げて「乗りたい！」とアピールすると乗ることができます。現地の人たちは、私にはよくわからない細かい手の動きや表情で乗るのか、乗らないのかをうまく伝えていきます。



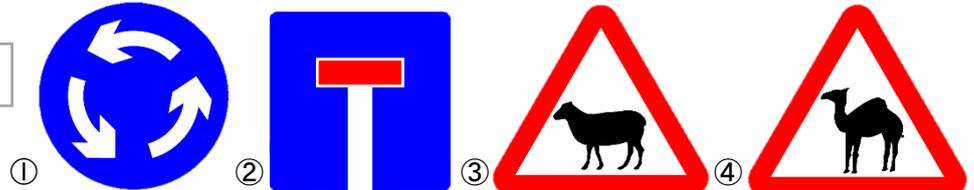
さらにもう一つ、日本と違ってこのバスに

は、「優先席」がありません。でも、ヨルダンでは子どもや女性、高齢者を敬う文化があり、たとえ満席でも女性や子ども連れ、高齢者が乗ってくるとすぐに若い男性が席を譲っていました。外国人である私も席を譲ってもらったことが何度もあります。特別に席を設けなくても譲り合うことができるのは素敵だと思いました。



Let's talk in Arabic ♪

今回はバスについて紹介したので、関連して道路標識についてクイズです！一体どんな意味の道路標識でしょうか？考えてみてください。



日本ではなかなか目にしないものを集めてみました。①や②はどんな意味でしょう？図から想像してみてください！③と④はイラストで大体の想像がつく人もいるでしょうね。

次回、答えとともに他の標識やマダバから首都アンマンまでのバスから見える景色についても紹介します！お楽しみに♪



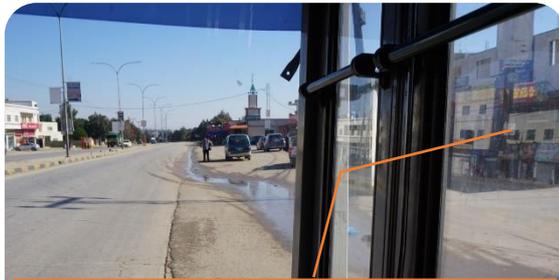
では、また次回! مع السلامة



2022-1 次隊 岡崎 友里

せかい しゃそう けしき
世界の車窓から～バスからの景色～

今回は、前回紹介した首都アンマンとマダバ間を走るバスから一体どんな景色が見えるのか、お伝えします。ちなみに、日本のように決まった時間にバスが発着することがないので、いつ来るかよくわかりません。道やバス停で待ちます。日本の公共交通機関が時間にぴったりののは、当たり前ではないと気づかされました。ヨルダンでバスを待つ間は、人と話をしているのんびり過ごすことができるので、待っている時間も退屈しません。たまたま一緒にバスを待つことになった家族から果物ももらったこともあり、新型コロナウイルスが流行したこともあり、日本では少なくなっていた人と人の何気ないやりとりで心が温かくなりました。



道路のわきには、コーヒーショップや商店が並び、たくさんの野菜や果物を車に積んで販売している人を見かけることもあります。



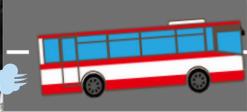
マダババスターミナル



しばらく、たくさんのオリーブの樹や



信号は縦向き！日本とは向きが異なります。



羊の群れを眺めながら過します。



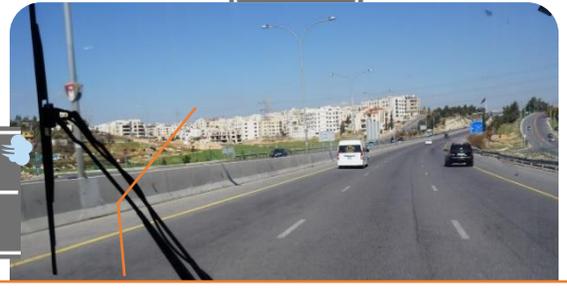
空港につながる大きな道路を過ります。その途中にはIKEAもあります。



アンマンに到着！この日はアンマンの「スウェーデン」近くで降りました！



アンマン（スウェーデン）



首都へ近づくにつれて、マダバより高い建物がたくさん見えてきます。



Let's talk in Arabic ♪



では、^{ぜんかい}前回の^{どうろひょうしき}道路標識の^{こた}答えを^{はっぴょう}発表します！



①



②



③



④

①の意味：この先「ラウンドアバウト（回って方向を変えなくてはならない円形の交差点）」があります。
…日本ではあまり見かけませんが、くるくると回って行きたい方向へ向きを変える道路が多くあります。

②の意味：この先行き止まりです。…意外と複雑な道もあり、進んでみると行き止まりということも。

③と④の意味：羊（③）/ラクダ（④）が通ります。（注意してください！）

③と④について、まさか道路にいるわけないでしょ。とおもいましたか？さらに下を読んでみてください。

さて、今回はアラビア語より文化紹介になりました。次回はアラビア語を学習しましょう！



では、また次回！ مع السلامة

～羊やラクダの道路標識は必要不可欠?!～

先ほど紹介した道路標識、③と④は絶対に欠かせません！なぜなら、見ての通り、放牧されているからです。活動先の小学校への行き帰りに羊をよく見かけます。首都アンマンであっても、たくさんの車が走る道路のすぐ横に羊の群れがいました。日本では考えられない光景に「ここ、サファリパークみたい…」と感じます。



さすがにラクダはいないでしょう…？…いいえ、います！ここも別の小学校のすぐ近くです。

私にとっては驚きですが、これがヨルダンの日常。羊やラクダの道路標識が必要なことが納得できます。



やっほー!
! ー !



2022-1 次隊 岡崎 友里

ヨルダンに春が来た!



暖かくなり、春が来ました。
ほら、桜の花が満開!...と言いたくなるほど、そっくりの花が咲いています。形も色もそっくりのこの花、これはアーモンドの花です。ヨルダンへ来て、初めてアーモンドの花を目にしました。まさかこんなにも桜に似ていたとは知りませんでした。



約1か月前は雪が降るほど寒かったのに、今では日中20度を超える日もあり、夏がすぐそこまで来ているような気がします。そんなヨルダンでは恵みの雨も降り、緑が青々とし、いろいろな花が咲いています。最初は乾燥した砂漠のような場所だと思っていたので、四季があること、春になるとこのような景色が見られることは想像もしませんでした。今回は色とりどりの花をお楽しみください!



絨毯を敷いたように一面に広がる黄色い花。日本の菜の花と同じ様に食べられるそうです。



ヨルダンにも、日本と同じ花があるよ。



ひとつひとつの花の名前はわかりませんが、ねこじゃらし(狗尾草)に似た草も見つけました。



あれ？まだつぼみのこの花は一体…？
答えはまた今度！

日本の春と言えば、別れや出逢いの季節ですね。卒業を目前にしたみなさん、これから進む先はどんな道で、どんな人が待っているのでしょうか。すべては自分次第。前へ進むだけでなく、時にはまわり道をするこも、立ち止まったり引き返したりすることがあってもよいと私は思います。今は今しかありません！何が起ころかわからないからこそ、楽しみながら、後悔のない選択をしてください。応援しています。



Let's talk in Arabic ♪

今回は日本と同じ四季のあるヨルダンでそれぞれの季節を何とのか一緒に学びましょう！



الربيع

読み方：アッラピア



الصيف

読み方：アッセイフ



الخريف

読み方：アルハリーフ



الشتاء

読み方：アッシャー

みなさんが好きな季節はいつですか？日本の四季も好きですが、ヨルダンで四季を味わってみて、日本とは違ったよさを感じています。どちらの国でも、季節の変化は生活に彩りや刺激を与えてくれます。これからもそれぞれの時期ならではの文化や行事を背景や意味を分かった上で大切にしていきたいです。



では、また次回！ مع السلامة